

## ミニデイサービス



地域貢献活動の一環として、JA助けあい組織は9月10日に二ツ井・梅内地区で、9月12日に藤里・矢坂地区で、それぞれミニデイサービスを開催しました。

梅内地区で

行ったミニデイサービスには、地域住民など約40名が参加。レク・コーデイネーターの小栗先生を講師に招き、タオル体操や歌を交えた健康レクリエーションを行い、楽しく心身をリフレッシュしました。また、矢坂地区では住民36名が参加し、講師の渡部先生とボールを使ったゲームや歌に合わせて全身の体操などを行いました。その後、昼食交流会を行い、住民同士の交流を深め、終始笑顔にあふれたイベントとなりました。



▶笑いの絶えないミニデイで心も体も健康になりました

## 女性部が野菜やタオルを寄贈



地域住民との交流や地産地消運動の一環として、女性部能代支部は9月11日に市内3カ所の老人保健施設へ、採れたての野菜とタオルの寄贈を行いました。

この取り組み

は毎年行われており、当日は女性部員が愛情込めて栽培したカボチャやジャガイモなどを各施設へ配達しました。このうちJAデイサービスセンターいなほの里には、佐々木博子女性部長ほか2名の女性部員が訪れ、「今年もみなさんの元気な姿を見ることができてとてもうれしい。皆さんの元気が地域を明るくします。採れたての野菜を食べて、これからも健康に過ごしてください。」と話して手渡しました。



▶利用者と会食し交流を深めた

## みそたんぽ作り



食農教育活動の一環として、9月24日に藤里小学校5、6年生14名を対象に、JA女性部藤里支部員3名がみそたんぽ作り体験を実施しました。

はじめに藤原支部長らが作り

方の手本を見せ、さっそくみそたんぽ作りに挑戦。今回の体験では、みそのほかにチヨコホイップも用意し2つの味を楽しみました。児童からは「初めてみそたんぽを作ってみて、形を整えるのが難しかったけどおいしくできました！」と感想が聞かれ、また藤原支部長は「パンをよく食べる子どもたちに、お米を食べるこの大事なさ、お米のおいしさを知ってもらったことができてよかった。」と話してくれました。



▶甘いみそをつけて児童特製のみそたんぽができました